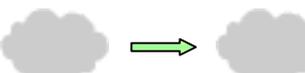
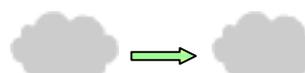
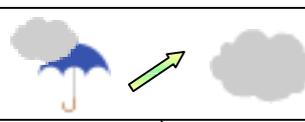
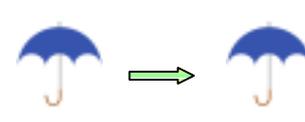
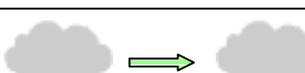
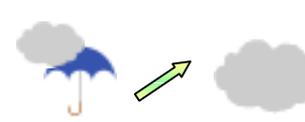
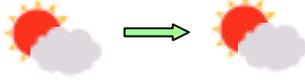


【産業動向概要】

産業全体 	<p>04年4月を中心とする静岡県経済の動きは、需要は個人消費が概ね横ばいで推移、公共投資は前年実績を下回ったが、設備投資は企業収益改善等を背景に増加、引続き回復。生産は、鉱工業生産指数、産業用大口電力消費量とも連続して前年実績を上回るなど、企業の生産が引続き緩やかに増加。このため、全体として県内経済は改善の動きが続いている。</p>
--	--

観光・旅館業 		<p>ゴールデンウィークは曜日配列、また期間前半の好天に恵まれたこともあり、伊豆地域の宿泊客数は堅調に推移、前年比横ばい～増加傾向となった施設が多い。 一方、観光施設は期間後半の悪天候が影響、実績にばらつきが出ている。</p>
紙類 		<p>古紙価格は引続き高水準で推移。衛生用紙の市況は弱含みの状態が続いている。段ボール原紙は家電、食品向けなどの需要が堅調、メーカーは価格維持をめざして、今後とも生産調整と在庫抑制に注力すると予想される。</p>
水産業 		<p>2～5月期の静岡県主要漁港の総水揚げ量は72,008トン。マグロ類が前年同期比で大幅に増加し、全体の25.0%を占めるに至っている。一方、その他の魚種は全て減少、特にサバの水揚げ高は半減し、魚種別の順位もマグロと入れ替わり3番目となった。</p>
一般機械 		<p>03年1月以降大幅な下落傾向が続いていたが、2～4月期における一般機械の県内生産額は前年同期比▲0.2%減と、ほぼ前年同期並みの水準にまで回復。前期(03年11月～04年1月期)と比較すると、29.0%増と大幅な回復を示した。</p>
木材 		<p>住宅新設着工は春の需要期入り、県内製材品の生産も建売住宅需要増で、ともに回復の兆しはあるも本格的な回復には至らず。今後の需要も前年同水準で推移とみられる。価格は、天候要因が解消されたが、原産地米国の住宅需要増で品不足感継続、上昇傾向が続くとみられる。</p>
缶詰 		<p>2～5月の水産缶生産量は前年同期を下回った。農畜産缶も前年同期比減だが、カレー等の調理缶やペットフード缶の需要は安定、全体を下支え。飲料缶も前年同期比減、ただし4～5月の気候が温暖だったため5月の生産量は増加した。</p>
楽器 		<p>主力のピアノは輸出は欧州・中国市場向けが堅調に推移したが、国内向けは引き続き不振。電子楽器類は、電子オルガンの新機種投入により久しぶりに好調となる。</p>

輸 送 用 機 器			<p>2～4月期の二輪車生産台数（完成車）は、314千台と前年同期実績を下回った。国内、海外向け両方が減少となり、特に国内向けの減少幅が大きかった。海外組立用部品は、前年同期比を大きく上回った。自動車部品は、自動車販売の好調を受け、前年同期比を上回った。</p>
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	02/4 (02/6)	02/7 (02/9)	02/10 (02/12)	03/1 (03/3)	03/4 (03/6)	03/7 (03/9)	03/10 (03/12)	04/1 (04/3)	04/4 (04/6)
概況 		→							
観光・旅館業 		→						→	
紙類 			→				→		
水産 			→						
一般機械 		→							
木材 		→							
缶詰 		→							
楽器 		→							
輸送用機器 		→			→				